
白黒学園物語

雷光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白黒学園物語

【Nコード】

N9792X

【作者名】

雷光

【あらすじ】

ここ白黒学園は【ヴァイスシュヴァルツ】というカードゲームを授業にいった少し風変わりな学園である…。そこに新入生の【黒野翼】と【白井 優奈】が入学してきて問題を起こす、ほのぼの学園コメディー生活！ 注意！！（作者は初心者で中学生です。しかも自己満足で書きます。それでも見てくれると嬉しいです）

プロローグ（前書き）

本編始まりは次話からです。

ブローグ

- 白黒学園 -

- 生徒数1000以上 -

- そこらでは有名な学園である -

- この学園の成績は普通 -

- 部活の大会でもすごい成績をだしたという事はない -

- という有名になる要素が無い学園ではあるが -

-ほかの学園とは少し違うところがある-

-それは-

-ヴァイスシュヴァルツ-

-というカードゲームを授業にいった、少し風変わりな学園である-

-その学園に300人以上の新生が入ってきた-

-その新生の内の二人-

-【黒野翼】と-

- 【白井 優奈】の -

- 二人の白黒学園の生活を紹介したいと思います -

プロローグ（後書き）

ダメだ…何この駄文…はあ、早速心が折れそう…

第1話 入学式とルームメイト（前書き）

どうも雷光です。執筆中にパソコンの電源が切れて執筆最初から…
猫のバカヤローーーーーッ！！

第1話 入学式とルームメイト

白黒学園正門

そのこの一人の男子生徒がいた

その男子生徒の名前は

【黒野翼】
くろの 翼

今ここに黒野翼の学園物語は始まる

黒野翼 Side

どうも、黒野翼です。この学園の正門で学園を見渡しているのですが…

「何これ？」

そう、いくら白黒学園だからってこれはやりすぎでしょ…

まず、この学園の制服

男子は黒の制服、女子は白の制服を着ている。…まあ中には黒と白が入った（以下白黒）制服を着た男子や女子がいるけど…

ちなみに俺は白黒の制服です

まあ、それならまだ許せる…けどさあ…この学園は寮生活って聞いたけど…まさか寮まで白と黒に分けられているとは…しかも丁寧に白黒寮まであるし…

ここまで白黒が多いと目がチカチカするな…

『もうすぐ入学式が始まります。急いで体育館に向かってください』

もうそんな時間か…急いで行く

体育館

「はあ、はあ…」

ギリギリ着いたな…

『これより入学式を始めます。校長先生お願いします』

着いて早速入学式とは…少しは休憩させるよ！正門でこの学園見てたんだから！…まだ目がチカチカする…

『はい。皆さんおはようございます』

「」「おはようございます」「」

『皆さん知っていると思いますがこの学園には【ヴァイスシュヴァルツ】というカードゲームを授業に入れております』

そうなの？初めて知った。この学園に着たのは成績が普通だから平和に過ごせると思ってきたからまったく知らなかった…

『【ヴァイスシュヴァルツ】は世にはあまり知られておりませんが、だから【ヴァイスシュヴァルツ】を世に広める為にこの学園を設立しました』

校長先生、今は入学式です。この学園の設立はまたの機会にして速く進めてください

『しかしこの学園は【ヴァイスシュヴァルツ】を授業に入れてますが、新生の中にはまだ【ヴァイスシュヴァルツ】を知らない人がいるでしょう』

うん、俺はその内の一人だぞ

『だから、この入学式の後、先生から【ヴァイスシュヴァルツ】の

トライアルデッキと【ヴァイスシュヴァルツ】のパック10個、そのほかに部屋のルームキーや生徒手帳をもらってください』

トライアルデッキ？始めるならスターターデッキじゃないのか？

『以上、校長先生からでした。次は新入生の言葉です』

ここから先は普通に入学式だったので省略します by 翼

『…以上で入学式を終わります。各自、自分の部屋に行き明日の授業の準備をしておいて下さい』

ふう、やっと入学式終わった。さあて先生からヴァイス…シュヴァルツだっけ？を取りに行こう

タッタッタッタ…

7分後

「次の方」

「はい」

ようやく俺の番か…目がチカチカしてるから速くもらって部屋で寝よう

「えーとお渡しするのは【ヴァイスシュヴァルツ】のセットと生徒手帳に部屋のルームキーです。後で生徒手帳にかかっている校則とこの学園特有の【ヴァイスシュヴァルツ】のルールを確認してください」

「はい。ありがとうございます」

「いいえ、次の方」

よし、部屋のルームキーを手に入れたぞ。さあて部屋の番号は…WS1-8-14か…」

「部屋の番号はわかったけど…寮はどれだ？」

「あなたの寮はあの白黒の寮、WS寮よ」

「ありがとうございます…って、誰？」

今俺の目の前には髪の色が白で目の色は黄色でかわいい女子がいた…

「あつ、はい私の名前は【白井 優奈】^{しらい ゆうな}といいます。あなたと同じWS寮所属の1年生であなたのルームメイトです。」

へえー俺のルームメイトで名前は白井優奈さん…

「って、ええええええー！ーッ！ー！？」

何で俺のルームメイトが女子なんだ！？

第1話 入学式とルームメイト（後書き）

誤字、脱字あったら報告してください。お願いします

第2話 学園ルール（前書き）

どうも雷光です。今日友達とヴァイスシュヴァルツで遊んでたんですが結果は自分の負け…。しかも相手のレベルとクロックは2-1でボコボコにされました…。ひどくね？

第2話 学園ルール

「ええええええー！ー！ツ！ー！？」

何で俺のルームメイトが女子なんだ！？

「……その様子だとこの学園のルールを知らないみたいですね」

うん、知らない！まだ俺この学園の校則見てねえもん！しかし何でルームメイトが女子なんだ………うん？

「今思ったけど何で俺がルームメイトってわかったんだ？」

「…本当に知らないですね」

すまねえな、何も知らなくて！！しかも今軽く笑ったし！

「まあ、説明は寮に向かいながら話しましょう」

そうですね。俺速く寝たいし…

「じゃあまず、どうしてあなたと私がルームメイトかわかった理由」

ああそれ気になるから速く言って

「あなたが先生から部屋のルームキーを買って言ってたんですよ…
部屋の番号…WS1-8-14…って」

「……マジで？」

「マジで」

畜生！俺はよっぽど疲れたんだな！これも全部この学園のせいだ！

「その言葉を聞いて私の部屋の番号と同じだったのでルームメイト
だってわかったのよ」

「じゃあ次、何で俺とお前…てか男女が同じ部屋にいるんだ？」

「それはあなたが入った寮のせいです。この学園は白い寮をW寮^{ホワイト}、
黒い寮をB寮^{ブラック}って言うの」

まんまだな…もう少し名前に捻りをいれるよ、校長先生

「そしてあなたが入った寮はWS寮^{ヴァイスシユヴァルツ}って言うの。W寮は女子の寮で
B寮は男子の寮なの」

ああ、だから正門で見渡した時男子が黒で女子が白だったんだ

「次にWS寮。この寮は男女ペアで過ごす、混合寮ってわけ。その
証拠に部屋のルームキーの番号と制服の色がおなじでしょ？」

確かによく見ればこの女子の着てる制服の色は白黒だったな。そし
て部屋のルームキーの番号は…WS1-8-14…うわ、本当に同
じ番号だ…

「さて話してる間にWS寮についたわよ」

「あっ…本当だ」

ほかに聞く事は無いしさっさと入って寝よう。……目のチカチカはまだ残っているのか…

「あっそういえば、まだ君の名前まだ聞いてなかったね」

うん？そういえばそうだな…名前は聞いたからちゃんと返さないと…ルームメイトだからこれから先長い関係になりそうだし…

「そうだな。じゃあ自己紹介、俺の名前は黒野翼。よろしくな」

俺は自己紹介した後右手を出した

「黒野翼ですか…改めてこちらにも自己紹介します。私の名前は白井優奈。よろしくお願いします」

自己紹介が終わり、白井さんは俺が出した右手を握りお互いに握手をした…

「……………ナンカ手がモノスゴクネチヨネチヨスルンデスガ…」

「ふふ…自分の手をよく見てみな」

「手を？…………げっ！」

おそろおそろ右手を見てみると俺の手に…

「な…なめくじ…」

「私は基本こつという悪戯好きだからそこらへんこ注意を…」

こいつ…見た目こそは白だが中身は黒かよ…！

「お前な…！…っ…！」

「きゃあ！これはとても嫌な予感がする…」

「お返しに…発殴らせる…！」

「やだ、だから逃げます」

「さてや、コラー…ッ…！」

こつして俺の学園生活は始まった…

第2話 学園ルール（後書き）

翼：いくら何でも女性を殴らせろなんて…短気な奴…

第3話 小さな才能（前書き）

どうも雷光です。……前書きに書くネタが無い……orz

第3話 小さな才能

「畜生…まさか回し蹴りをしてくるなんて…」

「殴ろうとしたあなたが悪い」

はい、どうも皆様翼です。いったい何の話をしてるかと言うとあの後白井さんが曲がり角に逃げ俺が追いかけたら不意打ちの回し蹴り…こいつどこかの名探偵アニメみたいに空手使いか？まあ、そのおかげで白井さんのアレが見えたからいいか…ちなみに色は白…やはり白井さんは見た目は白なのか？

「……ところで黒野君ってヴァイスシュヴァルツのルール知ってる？」

「いや、知らない」

「そう…だったら速く確認したらいいよ。明日の授業の1時間目ヴァイスシュヴァルツの実技だから」

「入って早々ヴァイスシュヴァルツの実技かよ…この学園は相当ヴァイスシュヴァルツ脳だな…」

てか白井さんはヴァイスシュヴァルツを知っているのは？ヴァイスシュヴァルツの事を話す時、説明口調みたいだから、たぶんヴァイスシュヴァルツの事知っていると思っけど…

「じゃあ、私購買で今日のご飯買ってくるからその間にルール確認をしときなさい」

「わかった」

じゃあ部屋に入ってヴァイスシュヴァルツのルールとデッキを確認
しよ。…今思ったけどまだ自分の部屋に入ってなかったな…

WS1 - 8 - 14 (翼と優奈の部屋)

「よし、じゃあまずはデッキからチェックするか」

デッキ…デッキ…あった、これで無かったら逆にビックリするけど
…うん？箱に何か書かれてる…えーと…

「フヘイトFate / ステイstay ナイトnight…?」

このデッキの名前か？まあ中を確認しようか

【聖剣の担い手セイバー】が4枚…かつこいいな

【最優の英霊セイバー】が2枚…霊って事はセイバーはお化けなの
か？

【湯上りセイバー】が4枚…特に無いな…

【水着のセイバー&桜】が1枚…あら、この桜って女かわいい

【黄金の英雄王ギルガメツシユ2枚】が2枚：下のテキストからしてかなり傲慢そう…

【衛宮家の居候】が1枚：この右の女はテキストからして凜って名前か…：ところで衛宮って誰？しかも居候？

【赤い騎士アーチャー】が4枚：普通に腹筋が6個か…：8個だったらすごかったな

【錬鉄の英霊アーチャー】が2枚：こいつもお化けか…：うわ！たくましい背中！

【約束エクスされし勝利カリバーの剣】が4枚：これは横向きか…：効果は【永】あなたのキャラすべてのソウル+2…：ソウルが何なのかW A K A

R A N
そして他多数…

お次はパック…：パック…：ご丁寧にすべてがF a t e / のパックか…

さて…：開封しようか…

ピリツとな

白井 優奈 S i d e

私が購買から今日のご飯とヴァイスシュヴァルツのパック5個ってきて自分の部屋に戻ったけど…

「【騎士王セイバー】効果は…なるほど…しかしこの左上のついてるこの数字は何なんだ？」

どうやら黒野君はカードの効果を確認してるみたい…しかしカードを見る前にまずルールを確認しなさいよ…しかも【騎士王セイバー】って確かRRでしょ？よく1パック目にでてきたね…

まあ、私も買ってきたパックと学園から買ったパックとトリアルデッキを開けましょう。

「あつ横向きのカード発見。カード名は【無限の剣製】アンリミテッドカードクスか…」

…どっちのワークス？…てか速く開けよう。まずはトリアルデッキを確認…シリーズは【灼眼のシャナ】…基本使わないシリーズか…となると学園のパックも【灼眼のシャナ】ね…じゃあ自分が買ってきたパック5個を開けますか…

「2パック目…ピリツとな…」

こ、効果音をつけて開いてのね…さて1パック目オープン…それなりにいいわね…

「うわ黒！！何このセイバーと変なオーラを纏っている剣は!？」

黒いセイバーと変なオーラの剣？…どんなカードだったかしら？2
パック目は悪いわね…

「また横向きカード発見。カード名は【アンミミテセUnlimited】…ブBlack Works】…え！？これもアンミリテッドブレイドワークス！？」

だからどっちのワークス？聞こえないだろうけど…3パック目は…
R出た！しかしRRが欲しい！

「3パック目…」

今度は効果音をつけなかった…私は4パック目…「どりゃ！！」ゆ…
油断した…もう少しでコケるところだった…とりあえず4パック目…
うーん、微妙…

「うわ、ダブリー！しかも【騎士王セイバー】！！」

………うらやましい………

「横向きもダブった…いらねえよ【エクス約束されし勝利の剣】何て…」

…まあ確かにトリアルデッキには【エクス約束されし勝利の剣】は4枚
だからいらねいわね…最後の1パック…くっ、RRが出なかった………

「4パック目…ペリッとフエイカーな…【複製者アーチャー】…【凜&士郎】
…うん？左下に数字が書かれてないカードだ…何々…【ゲートオブ王の財
宝】か…」

1パックにRが2枚…うらやましい…こうなったら腹いせに何か悪

戯してやる!!

…でもどんな悪戯しようかな…ブーブークッション? いや、ベタね
…嫌いな物を近くにこっさり置く? でも何が嫌いなかわからない…

「…【最…英…イバー】…ダ…たか…【衛…郎】…こい…いそう…
家主か…」

ここはやはり定番の落とし穴!? しかし引っかかる確率が少ない…
うーん、何にしよう…

その後、翼はルールを大抵把握し、デッキを少し改良した

第3話 小さな才能（後書き）

すいません。こんな半端な終わり方をしてしまっ…次回ついに翼が始めてヴァイスシュヴァルツをやります！相手はもちろん…

第4話 初めてのWS！【黒野翼】VS【白井優奈】（前書き）

どうも雷光です。タイトル通り初めてWSのバトルです！ちゃんと戦ってる感じが出てるといいな……後、活動報告のバトンの通り、メガネ様に初めまして、雷光ですを書き忘れてしまいました。だからメガネ様に謝ります。慣れ慣れしく話してしまい真に申し訳ありませんでしたm（- -）m ……顔文字初めて書いたな……

第4話 初めてのWS！【黒野翼】VS【白井優奈】

どうも翼です。あれからカード見て、ヴァイスシュヴァルツのルール見て、この学園特有のヴァイスシュヴァルツのルールを見て目が疲れたよ…まあとりあえずルールのおさらいをしよう

まずはフェイズについて…ゲームの前に手札のカードを任意の枚数、控え室に送り、送った枚数分カードを引く…確かチェンジフェイズだけ？

次にスタンドフェイズ…自分のキャラがレストしてた場合レストしてたキャラをスタンドさせる…

ドローフェイズ…ここは普通にデッキからカードを1枚ドローするところ…

クロックフェイズ…手札を1枚クロックに置くことで2枚ドローできる…

メインフェイズ…ここでは主にキャラを配置をさせたり効果を発動させたり左下に数字が無いカード…イベントカードを発動したりする…キャラを置いたりイベントを使うためには第1条件に一番左上の数字がクロックレベルより数が下か同じでなければいけない。次に第2条件は一番左上の数字のすぐ下の数字分ストック置き場からカードを控え室に送る…ぐらいか？

クライマックスフェイズ…ここで横向きのカード…クライマックス

カードが手札から1枚使えるところ

バトルフェイズ…ここでキャラがバトルをする。攻撃するキャラは攻撃時レストしなければいけない。攻撃したキャラのソウル+攻撃の仕方+トリガーが相手へのダメージとなる。ソウルはカード名のすぐ下に書かれたはず…トリガーは処理後ストック置き場に置かれる…ダメージを受ける時はデッキの上から受けたダメージ分のカードをめくりその時めくったカードにクライマックスカードがあればそのダメージを無効にする(この行為はキャンセルという)…受けた場合、そのダメージをすべてクロックに置く…クロックの枚数が7枚になればクロックレベルが1つ上がる…バトルをして負けたほうのキャラがリバスする…この時バトルの勝敗と相手へのダメージは関係ない…そしてバトルフェイズ終了時リバスしてるキャラは控え室に送る…

そして最後にエンドフェイズ…自分のターンを終わり、相手のターンに移る…

フェイズのおさらいは終了…次は勝敗に関して

先に相手のクロックレベルを4にしたほうが勝ち…デッキが0のなっても負けにはならず控え室のカードをすべてデッキにしシャッフル…その後デッキの一番上のカードを1枚クロックに置く(この行為はリフレッシュという)…この時クライマックスカードを引いてもダメージは無効にならない…

勝敗に関しては終了…最後にこの学園特有のヴァイスシュヴァルツのルールは【カウンタ・ステップに助太刀が何回でも使える】【男子はシュヴァルツサイド、女子はヴァイスサイドのカード以外使ってはいけない】これだけ…

…よし！おさらい終了！これで安心して実技が行えるぞ！

「ではこれより実技テストを行う！各自にWSディスクとWSサポートをつけてください！」

おっと、何の事かわからないから説明しないと！まずWSサポートはフィールドのお互いの手札枚数、デッキ枚数、ストック枚数、今あるクロックレベルとクロック、そしてフィールドのキャラのパワー、効果を教えてくれるとっても便利なスカウター型の機械だ！（相手のキャラのパワーは教えてくれるけど相手のカードの効果は教えてくれません）

次にWSディスクはこのディスクにヴァイスシユヴァルツのカードを乗せるとソリットビジョンで実体化するすごい機械だ！……現代はいつから遊 王の技術を使えるようになったんだ？

「対戦相手は各自の自分のルームメイトです！」

ルームメイト……てことは…

「まさか、こんなに速く戦うなんてね…黒野君」

「同感だよ、白井さん」

「まあ、昨日の恨みも晴らせるから私にとっては都合がいいからいいんだけど…」

「恨み？俺何かしたか？」

したとしたら殴ろうとした時ぐらいしか…しかもあの時俺がやられたから関係ないと思うけど…

「別にわかんなくてもいいわよ。個人的で自己中な恨みだし」

「そうかい。だったら始めるか…」

「そうね…」

「「ヴァイス、シュヴァルツ！」」

第4話 初めてのWS！【黒野翼】VS【白井優奈】（後書き）

遊戯王みたいにデュエル前に掛け声が欲しいので掛け声はヴァイス
シュヴァルツにしてみました…感想を頂けると嬉しいです

第5話

【黒野翼】VS【白井優奈】

前編

(前書き)

どうも雷光です！今日、この小説のお気に入り登録ユーザー表をみたらマーボー様がこの小説をお気に入り登録してました！まだまだ凡人以下のこの小説をお気に入りに入れてくれてとってもうれい
です！！

第5話

【黒野翼】VS【白井優奈】

前編

「ヴァイス、シュヴァルツ!!」

まずはチェンジフェイズ!

「私は手札のこの3枚を控え室に置き3枚ドロ―!」

控え室に送ったカード

【エース・オブ・エース なのは】

【キャロ&ヴォルテール】

【キャロ&フリードリヒ】

控え室に送るカードは基本序盤では使わないカード…なら!

「俺は手札のこの2枚を控え室に送り2枚ドロ―!」

控え室に送ったカード

【ファニーライオン】

【セイバー召喚】

手札に来たカードは…よし！Lv0が来た！

「じゃあ、ゲームスタート。先攻は私から、ドロ―！…手札の【スターライトブレイカー】をクロックに置き2枚ドロ―！」

…最初はいつたいどんな手でくるんだ？

「私は前列中央に【副隊長シグナム】を配置！」

おお、すげえ！これがソリッドビジョンか！今俺の目の前に巨乳のポニーテール…シグナムが立っている…パワーは…3500…高！何か自滅効果があるのか！？

「そして【副隊長シグナム】でダイレクトアタック！【副隊長シグナム】のソウルは1！ダイレクトアタックで+1！そしてトリガー！…【使い魔アルフ】…トリガーは0…よって2ポイントのダメージ！」

うわあ！シグナムが剣を構えてこっちに突っ込んできた！

『はあああーっ！』

…こ、怖！今思いきりズバッと切られたぞ…リアルだったら死んでるな…

「…（ゴクツ…）ダメージ計算！1枚目…【漆黒の聖剣 セイバー】…2枚目…【湯上りセイバー】…よってすべてクロック置き場に置く！」

「私のターンは終了…さあ黒野君のターンよ」

「わかってる！俺のターン、ドロ―！…手札の【錬鉄の英霊アーチャー】をクロック置き場に置き2枚ドロ―！前列左と右に【赤い騎士アーチャー】を配置！バトル！【赤い騎士アーチャー】2体でダイレクトアタック！お互いのソウルは1！

ダイレクトアタックで+1！トリガー！1枚目！【士郎&セイバー】…トリガーは1！2枚目！【不可視の剣セイバー】…トリガーはトリガーは0…よってダメージは3と2だ！」

『『行くぞ！』』

声がハモツた…アーチャー達が白井さんに向かって剣を振りかざし…切りきざんだ！？いくら何でもそれはひどいぞ！？

「大丈夫ですか！？白井さん！？」

「大丈夫よ…慣れてるから…」

よかった…大丈夫で…慣れてるって言ったからやっぱり白井さんはヴァイスシュヴァルツをやったことがあるのか…

「ダメージ計算！まず3ダメージの攻撃！1枚目…【ヴィヴィオ】…2枚目…【戦闘教官ヴィータ】…3枚目…【鉄槌の騎士ヴィータ】…すべてクロックに…次に2ダメージの攻撃！1枚目…【真ソニックフォーム フェイト】…2枚目…【戦技教導官なのは】…すべてクロックに…」

よし！白井さんに5ダメージ与えたぞ！

「ターンエンド！」

「ふっ…（やっぱりまだ初心者の思考…5ダメージ与えてドヤ顔をやるなんて…まだまだ甘いなあ…）私のターン…ドロー！手札の【フェイト&アルフ】をクロックに乗せ2枚ドロー！この瞬間クロックは7となりクロックレベルが1つ上がる！」

てことは白井さんはこれからレベル1を出すって事？…やっちゃった…

「（今頃気づいてもどうにもならないけどね…）私はレベル置き場に【フェイト&アルフ】を置き、残りのカードはすべて控え室に置く…私は前列左に【キャロ&フリードリヒ】を前列右に【戦闘教官ヴィータ】を置く！さらに【副隊長シグナム】と【戦闘教官ヴィータ】の場所を入れ替える。そしてクライマックスフェイズ！手札からクライマックスカード【迷いが晴れた時】を発動！自分キャラのキャラすべてのソウル+2する！」

うわっ…一気にドデカい竜とゲートボールに使いそうなハンマーを持った少女…ヴィータが現れた…パワーは…竜が5000でヴィータが2000…そしてシグナムが3500…全滅だ！さらにソウルも全員+2されてるし…

「バトル！【キャロ&フリードリヒ】で【赤い騎士アーチャー】にフロントアタック！【キャロ&フリードリヒ】のソウルは3！フロントアタックは0！そしてトリガー！…【なのは&ヴィータ】…トリガーは1！よって4ダメージだ！」

『フリード！ブラストレイ！』

『グルルアアアア！！』

何だ！どこからか少女の声が出たぞ！？って炎がアーチャーを包み込んで倒れた！しかもきれいな白髪がモン　ンのように上手に焼けてこんがり色になった！

「……………（合掌…チーン…）ダメージ計算！1枚目…【衛宮士郎】…
2枚目…【聖剣の担い手セイバー】…3枚目…クライマックスカー
ド【無限の剣製】！よってキャンセル！」

「まだまだ！【副隊長シグナム】で【赤い騎士アーチャー】にフロントアタック！【副隊長シグナム】のソウルは3！トリガー！…【ママ、いい子】…トリガーは0…よって3ダメージだ！」

ぷっ…笑っちゃダメだ…白井さんは真面目にやってんだから…

『はあ！ふっ！てあああーっ！』

『ぐっ！うわあ！』ゴキッ！！

あっ、アーチャーが吹っ飛ばされて妙な音をたてて倒れた…

「ダメージ計算！1枚目…【凜&士郎】…2枚目…【鬼教官セイバー】…3枚目…【黄金の英雄王ギルガメッシュ】…よってすべてクロックに置く！」

「これで最後！【戦闘教官ヴィータ】でダイレクトアタック！【戦闘教官ヴィータ】のソウルは3！ダイレクトアタックで+1！トリガー！…【キャロ&ヴォルテール】…トリガーは1！よって5ダメージだ！」

『アイゼン!』

『シュワルベフリーゲン』

うおーヴィータが叫んだらいきなりハンマーが声をだして鉄球をだした!

『ていあ!』

そしてヴィータが声をだした気持ち悪いハンマーで鉄球をこっちにに向けて打ってきて着弾と同時に砂煙を撒き散らした!

「ダメージ計算!1枚目:【錬鉄の英霊アーチャー】:2枚目:【赤い騎士アーチャー】:3枚目:【最優の英霊セイバー】:4枚目:【騎士王セイバー】:5枚目:【遠坂 凜】:うそだろ:よってすべてクロックに置く。この瞬間クロックが7と4オーバーになりクレベル置き場に【湯上りセイバー】を置きクロックのカードをすべて控え室に送る!そしてオーバーしたダメージはクロック置き場に置く!」

「まさか、これが通るなんてね:ターンエンド。この瞬間【赤い騎士アーチャー】は控え室に送られる…」

くっ、これは結構ピンチだな…

… けど同時に心の底からこの時を楽しんでる!!

第5話

【黒野翼】VS【白井優奈】

前編

(後書き)

これからこの小説は土曜日か日曜日に更新します。執筆時間が足りない…

キャラ紹介（前書き）

どうも雷光です！この小説のお気に入りユーザー表にsotora ikubureido様がお気に入り登録してくれてさらに感想までもらってしまいました！sotora ikubureido様、ありがとうございます！

キャラ紹介

黒野 翼

性別 男

年齢 15才

身長 169cm

体重 58kg

好きな事 ヴァイスシュヴァルツ、運動系、モン

嫌いな事 白井優奈の回し蹴り、かかと落とし、裏拳、飛び膝蹴り、
その他もろもろ…

容姿 黒髪、黒目で少しイケメンの顔（イナズマイレブンの半田を
少しイケメンにした感じ）

性格 基本的に物事の問題は関わらない。しかし頼まれると断れない性格である。ちなみに短気

所属 WS寮所属、1年8組、ヴァイスシュヴァルツ部

使用カード Fate

使用デッキ Fateトリアル改良デッキ

白井 優奈

性別 女

年齢 15才

身長 152cm

体重 赤い何かで見えない…

好きな事 ヴァイスシュヴァルツ、Sプレイ、カレーライス（激辛DX）を食べる事

嫌いな事 ドM、カレーライス（甘口、中辛）、真面目なイケメン

スリーサイズ まな板同然なんだから書かなくても…作者が血だらけで倒れている…

容姿 白髪、黄目の少女顔。ぶつちやけ可愛い（テイルズ・オブ・ザ・ワールド レディアントマイソロジー3のカノンノを元にしてる）

性格 ドsで結構物事への関わりが大好き。そのため翼を巻き込む事がほとんどである

所属 WS寮所属、1年8組、ヴァイスシュヴァルツ部

使用カード なのは・とある

使用デッキ 一軍 なのはA、sフェイト&なのはデッキ・一方通行デッキ

二軍 なのはs t r i k e r s ライトニングチーム中

心スターライトブレイカーデッキ・超電磁砲デッキ

キャラ紹介（後書き）

以上、キャラ紹介でした！：速く本編書かないと：てかフィールド
状況把握が難しい！

追記 11 / 18 性別、好きな事、嫌いな事を更新しました。

追記 11 / 19 所属を更新しました。

第6話

【黒野翼】VS【白井優奈】

中編(前書き)

どうも雷光です。いやー書いてみれば案外時間があったよ…俺は嘘つきだな…てかヴァイスシュヴァルツのフィールド整理が難しい！

第6話 【黒野翼】VS【白井優奈】 中編

フィールド状況

黒野 翼

キャラ 無し

ストック 2枚

手札 4枚

デッキ 26枚

控え室 8枚

クロック 1 - 4

色 赤・黄

白井 優奈

キャラ 前列中央【戦闘教官ヴィータ】

前列左 【キャラ&フリードリヒ】

前列右 【副隊長シグナム】

ストック 4枚

手札 2枚

デッキ 29枚

控え室 9枚

クロツク 1 - 0

色 黄

フィールド状況 終了

「俺のターン、ドロー！手札の【聖剣の担い手セイバー】をクロツクに置き、2枚ドロー！…よし！ストックを2つ払い【最優の英霊セイバー】2体を前列右と左に配置！さらに前列中央に【凜&士郎】を出す！」

「パワー5000…【キャロ&フリードリヒ】と互角か…」

…最優の英霊セイバー…このカードは白井さんのデッキには天敵だ！

「バトル！前列右のセイバーで【キャロ&フリードリヒ】に攻撃！セイバーのソウルは1！トリガー！…【約束エクスされし勝利の剣カリバー】…トリガーは2！よって3ダメージだ！」

『はあああああ！』

『グルアアアア！』

セイバーが剣を竜に向かって振り下ろすが竜もその攻撃に対して火球を出そうとしている…けど…

【最優の英霊セイバー】 パワー5000 7000

「…えっ？いきなりパワーが7000になった…」

「【最優の英霊セイバー】の効果！このカードが特徴【魔法】とバトルする時パワーを2000アップさせる！」

『てええあ！！』

『グルアアアア……』

『フリード！！』

セイバーが剣で火球を押し切りそのまま竜の片翼を真っ二つに切った…そして竜の背中から一人の少女が出てきて竜を心配してる…あの少女がキャロか？

「…ダメージ計算！1枚目…【Fの遺産】…2枚目…【キャロ&フリードリヒ】…3枚目…【使い魔アルフ】…すべてクロックに…」

「次！【最優の英霊セイバー】で【副隊長シグナム】に攻撃！セイバーのソウルは1！トリガー…【黄金の英雄王ギルガメッシュ】…トリガーは0…よって1ダメージだ！」

『はあ！ていあ！はあっ！！』

『ふっ！はあ！ぐわあああ！』

よし、シグナムを倒した！……てかパワーが2500？なんで下がってんだ？

「ダメージ計算！1枚目…え…クライマックスカード【スターライトブレイカー】…よってキャンセル…」

「……まだまだ！【凜&士郎】で【戦闘教官ウィータ】を攻撃！【凜&士郎】のソウルは1！トリガー！…【湯上りセイバー】…トリガーは0…よって1ダメージだ！」

『行くわよ、衛宮君！』

『わかってる！』

凜が手から何かをウィータに飛ばして煙がでて士郎がその煙を白黒の双剣で切った

「ダメージ計算！1枚目…【戦技教導官なのは】…よってクロックに置く…だけど…」

『まだあたしは終わってねえぞ！』

切った煙から額から血を出しているヴィータが凜たちに向かって突進してきた…

『ラケーテン、ハンマーツ！！』

『ぐっ！？』

『遠坂！！』

突進してきたヴィータが凜を叩き飛ばし士郎が飛ばされた凜を受け止めようとするが…

『ぐっ…っわっ！』

受けきれずそのまま凜と一緒に地面に叩かれ【リバーズ】した…何で…？

「【戦闘教官ヴィータ】の効果…このカードが【リバーズ】した時バトルしたキャラのLvが0以下の時そのカードを【リバーズ】する…」

くっ！それで【凜&士郎】はやられたのか！

「ターンエンド！エンドフェイズ時【リバーズ】してるキャラはすべて控え室に送られる！」

「私のターン、ドロ！手札の【鉄槌の騎士ヴィータ】をクロックに置き2枚ドロ！…1ストック払い前列中央に【なのは&ヴィータ】を配置！バトル！【なのは&ヴィータ】でダイレクトアタック

！【なのは&ヴィータ】のソウルは1！トリガー！…【スターライ
トブレイカー】…トリガーは2！よって3ダメージだ！」

『アクセル…シュート！』

『テートリヒ、シュラーク！』

ぐっ！すべての攻撃が3ダメージ近いとは…白井さんは悪魔か！？

「ダメージ計算！1枚目…【錬鉄の騎士アーチャー】…2枚目…【
遠坂凜】…3枚目…クライマックスカード【黄金の別離】…よって
キャンセル！」

「ふっ、ターンエンド…」

フィールドの状況は2対1…パワー面でも勝っている…このまま押し切る！！

…だが白井さんは何かを狙っている気がする…

第6話

【黒野翼】VS【白井優奈】

中編（後書き）

何かおかしい所があったらご報告してください。お願いします。

第7話

【黒野翼】VS【白井優奈】

後編(前書き)

どうも雷光です。久しぶりにテイルズオブデスティニー2PSPをやったらマグナ様をポコポコにして若本さんにポコポコにされた…

ちなみに難易度はアンノウンでLvは平均で118くらいです。

バカイル「爆炎剣！爆炎剣！爆炎剣！」 仮面「馬鹿の一つ覚えだな…」

いやー爆炎ループは強えぜ……

第7話 【黒野翼】VS【白井優奈】 後編

フィールド状況

黒野 翼

キャラ 前列左【最優の英霊セイバー】
前列右【最優の英霊セイバー】

ストツク 3

手札 3

デッキ 17

控え室 14

クロツク 1 - 5

色 赤・黄

白井 優奈

キャラ 無し

ストック 4

手札 2

デッキ 20

控え室 13

クロック 1 - 5

色 赤・黄

フィールド状況 終了

「俺のターン、ドロロー！手札の【無限の剣製】アンミリテッポウブレードワークスをクロックに置き2枚ドロロー！…【錬鉄の騎士アーチャー】を前列中央に配置！そしてアーチャーと前列右のセイバーの場所を入れ替える！バトル！前列左【最優の英霊セイバー】でダイレクトアタック！セイバーのソウルは1！ダイレクトアタックで+1！トリガー！…【アンミリunlimited】ブレードblade ワークスworks】…トリガーは門！よって控え室から【不可視の剣セイバー】を手札に加える！ダメージは2だ！」

これで白井さんのターンの攻撃でキャラがやられる確率が少なくな

った！

『はああああ！！！！』

セイバーが大きく剣を振りかぶって白井さんを切った…あまり見たくないな……

「くっ……！！ダメージ計算！1枚目…クライマックスカード【迷いが晴れた時】…よってキャンセル！」

「次、行くぞ！【錬鉄の英霊アーチャー】でダイレクトアタック！アーチャーのソウルは1！ダイレクトアタックで+1！トリガー！…【黄金の英雄王ギルガメッシュ】…トリガーは0…よって2ダメージ！」

『トレース、オン
投影、開始』

俺はもう見ません、ダイレクトアタックの時の攻撃は目をつぶっておじっ……

「ぐ…うっ…ダメージ計算！1枚目…【副隊長シグナム】…2枚目…【ヴィヴィオ】…よってすべてクロックに置く。この瞬間クロックレベルが1つ上がる、【戦技教導官なのは】をレベル置き場に置き残りはすべて控え室に…」

白井さんのレベルが2に…これから白井さんはもう攻撃してくるな…

「まだまだ！前列中央のセイバーで【なのは&ヴィータ】！セイバーの効果でパワーが2000アップする！」

「（…【なのは&ヴィータ】の効果を使えばエンドフェイズの時生き残れるんだけど…それだとこのカードを捨てなければならぬ…もう1枚はクライマックスだからこの効果で捨てられない…どうしようかな…）」

「セイバーのソウルは1！トリガー！…【セイバー召喚】…トリガーは0…よって1ダメージだ！」

『アクセセル…シュート！』

『シュワルベ、フリーゲン！！』

『中々やるな…だけどその程度では私の甲冑には届かない！』

『なっ……きゃーっ！』

『うわっ！』

おお、セイバーが見事に30くらい数がある弾幕をいとも簡単にかわしてなのはとヴィータに攻撃をくらわせたよ…

「ダメージ計算！1枚目…【Fの遺産】…よってすべてクロックに置く…（…この状況だとアンコールしなくていいか…）」

「これでターンエンド、エンドフェイズに【リバーズ】してるキャラはすべて控え室に送られる…」

「私のターン、ドロー！手札の【エース・オブ・エース なのは】をクロックに置き2枚ドロー！…イベントカード【Fの遺産】を発動！デッキトップのカードを3枚確認してその中に【フェイト】

または【エリオ】と名のついたカードあつた時その内1枚を手札に加える！そのほかのカードはすべて控え室に送る…3枚確認…」

…ギャンブル効果を持つカード…1枚ぐらいしか当たらないだろう…

【真ソニックフォーム フェイト】

【エリオ&キャラロ】

【エリオ・モンディアル】

えーっ！っ！？全部当たってる！？

「（…この運を昨日のパックに出て欲しかった…）…私は【エリオ・モンディアル】を選択！残りはすべて控え室に送る…ストックを1つ払い【エース・オブ・エース なのは】を前列中央に配置！さらに前列左に【戦技教導官なのは】を配置！クライマックスフェイズ、私は手札からクライマックスカード【スターライトブレイカー】を発動！自分キャラのキャラすべてにソウル+2する…！」

鬼！悪魔！またダメージを3以上にしやがって！

「バトル！【戦技教導官なのは】でサイドアタック！ソウル-1！トリガー！…【エリオ・モンディアル】…トリガーは0…よってダメージも0…」

…攻撃してきて、ダメージをくらってレベルを上げたいんだけど…

「いくよ、【エース・オブ・エース なのは】で【最優の英霊セイバー】に攻撃！この瞬間【エース・オブ・エース なのは】の効果

発動！」

「攻撃の瞬間に効果！？まさかセイバーみたいなパワーを上げる効果が…！？」

「そんな効果じゃないよ！【エース・オブ・エース なのは】の効果！このカードがアタックした時自分クライマックス置き場に【スターライトブレイカー】がある時発動可能！ストックを4つ払い相手に×ダメージを与える！この時×は自分控え室のクライマックスと同じ数になる！ちなみにダメージキャンセルは発生するから安心して」

何その壊れ効果！？一気に大ダメージをくらうかもしれないじゃん！！

「私の控え室の枚数は………4枚！よって4ダメージを与える！！」

まだ5とか6じゃなくてよかった…けど、やばいだろ！

「いくわよ！」 『全！』 「力！」 『全！』 「開！」

白井さんとなのはが全力全開と言うと…なのはが持っている杖に魔法陣が現れてピンク色の塊ができてゆく…これ、どっかのバトル漫画の元 玉じゃないよね！？

『「スターライターー………ブレイカーー……ッ！！！」』

えっ？……直径2mぐらいある塊がこっちに向かって来た！！

ドカーーーン
.....
!!

「…はあはあ…（心が死に掛けた…）…ダ、ダメージ計算！1枚目…
【遠坂 凜】…2枚目…【ゲートオブピロン王の財宝】…3枚目…【鬼教官セイバー】…4枚目…【不可視の剣セイバー】…よってすべてクロックに置く…この瞬間クロックが7と3オーバーになりレベル置き場に【遠坂 凜】を置き残りはすべて控え室に送る…そしてオーバーしたダメージはすべてクロック置き場に置く！」

よし、これでLvが2！一気に攻撃できる！

「そうそう、まだ【エース・オブ・エース なのは】の攻撃は残ってるから」

「えっ！？そうなの！？」

またあんな死ぬ思いすんの！！？

「うん、効果によるダメージと攻撃によるダメージは別だから…まあ、いくよ！【エース・オブ・エース なのは】のソウルは1！トリガー！…【迷いが晴れた時】…トリガーは2！よって3ダメージ！」

『ブレイク……………』

やばい、やばい！またあの即死級の砲撃が来る！今度こそ俺廃人になるぞ！

……………よく考えれば攻撃対象はセイバーだから大丈夫か……………つて！？

『シューーート……！』

『ぐっ……………くっ……………うわああああ……！』

「セイバー……ッ……！」

セイバーは放った砲撃を剣で相殺しようとするがやったことが無意味と言いたげに吹き飛ばし砲撃の余波がこっちに……

「……………あ……………かつ……………」

声……………ならない……………ほど……………小さい声で……………苦痛……………をあげ……………俺……………は気絶した……………

第7話

【黒野翼】VS【白井優奈】

後編（後書き）

すみません、こんな中途半端な終わり方で……遊戯王見てて思ったんですよね……よく王様や社長、虫野郎はソリッドビジョンを見て発狂しないな……って

だから黒野には遊戯王のじいちゃんみたいな感じにして気絶してもらいました……個人的にはあれ初心者がやったら普通は精神的に結構来ると思うですよ

よく無事ですよね……遊戯王やデュエマのキャラは……

第8話 部活決め（前書き）

どうも雷光です。昨日、私があまりにも運がなくて泣いた……
何故なら昨日モンハンやったら敵の攻撃くらったびに高確率でヒヨ
コになるんですよ……本気で悲しい……

そんな事より白き修羅様がこの小説をお気に入り登録しました！！
こんな駄目作者をお気に入りに入れてくれてありがとうございます
！！

第8話 部活決め

「えっ？部活決め？」

「そっ」

皆様、朝にこの小説見てる方はおはようございます。昼ならこんにちは、夜ならこんばんは。

私こと黒野翼は1週間前になのはのスターライトブレイカーをくらつて気絶して保健室まで運ばれましたがその後白井さんが謝罪の言葉、とは言っても口調は軽かったけど…ちなみにどんな言葉とか言うと『あつ、黒野君。ヴァイスシュヴァルツのスターライトブレイカーごめんね』…という若干ムカつく態度でした。まあ、慰謝料払えって言ったら1週間、飯奢ってくれろということ手で打ちました…で現在食堂で俺はうどん大盛を白井さんはカレーを食べてます。…でも辛さが激辛DXって何？めっちゃ辛そう…………それで食べる最中に白井さんがこんな事を切り出しました。

はい、あらすじ終了

「あんだどこの部活に入るか決めてるの？」

「うーん、まだ決めてないよ」

俺は運動がそれなりに動けるし好きだけど部活でやるのはちょっと

……ちなみに中学ではボランテニア部でした

「ならさ！私と一緒に【ヴァイスシュヴァルツ部】に入らない！！」
「？」

「ヴァイス……シュヴァルツ……部？」

まさか部活までヴァイスシュヴァルツがあるとは……この学園はどこまでヴァイスシュヴァルツ脳だな……好きだからいいけど……ここまで来るとドン引きしそう……

「別にいいよ」

「ほんと！！？ありがとう！！」

そういつて白井さんは俺の右手を両手で掴み、ブンブン！という音が出る程の速度で握手をする……うん、手には異常なしっと

「よかつたー、これで必要な1年生の数が集まった……」

「必要な1年生？」

「そうか、まだ話してないからわからないか。じゃあ説明するね」

白井さんはテーブルに置かれてるスプーンの上に乗ってるカレーライスのパクツと食べ、スプーンを置いた。……激辛DXってどんな辛さ何だ？とつても気になるな……

「必要な1年生ってというのは部活の存続に必要な数なの。たとえば部員が100人いても1年生が少なければその部活は廃部になるのよ。で廃部になりたくないから3年生は……」

「1年生をスカウトするのか…」

「そう、そうなれば1年生の時から帰宅部になる人が少なくなる。
この学園なりの校則なんだよ」

「なるほど…」

しかも、うまくいけば運動に興味がない人が興味ができるようになる
……効率が良さそうな校則だな

「それで、必然的に1年生に人気がない部活は消えてゆく…」

「そういうこと…」

説明し終わった白井さんは再びパクパク、カレーライスを食べ始めた……辛くないのか？

「じゃあ早速部活の申請に行こうか」

食べ終わった白井さんはカレーライスが乗った皿を持ち上げ食堂のおばあさんに返した

「そうだな、速く行って部活の申請に行くか」

「ついて来れるかしら」

「ついて来れるかしらじゃねえ……てめえのほづこそついて来やが
れ！……！」

そういつて俺たちは部活の申請をする為に職員室に走り出した……

30分後

「ぜえぜえ……前言撤回します……」

「あら、黒野君はすでにヘトヘトですか？」

こいつ……わざと遠回りしてなおかつ落とし穴を準備したり自分だけ女子更衣室に入って俺をさらに遠回りさせたり3階まで行って2階の教室の手すりに飛び降りて俺を迷子にしたり無駄に屋上まで行って1階に戻ったり……散々な目にあつたのに白井さんは全然疲れてないとか……こいつの身体能力チート級だろ……

「お前な……」

「まあ、いいじゃない。黒野君の分まで入れておいてから結果オーライって事で……」

「全然、結果オーライじゃねえ……」

「次はヴァイスシュヴァルツ部に行こうか」

「今度は走らないぞ」

「ちっ……わかりました」

3分後

「さあ、つきました、ヴァイスシュヴァルツ部です」

「という名の今は使わない生徒会室だな」

ここに来る間白井さんから受けた嫌がらせは無し……どつやら白井さんのペースに入らなければ嫌がらせは無さそうだな……

「じゃあ入るよ、黒野君」

「はいはい」

白井さんはドアノブに手をつけ下に引き、横にスライドさせた……

「って、横!？」

「うん、そう」

どうしてこんな開き方にしたんだ……まあ、とにかく

「失礼します」

俺達が入った先にいる人は……

「だからこれとこのカードをこのコンボが成立して……」

「本当だ。いやーダメだね。本当に俺は馬鹿だな……」

「もう、これだから姉さんは…ん？誰かいるよ姉さん」

「あつ、本当だ」

俺達の目の前にいるのは白い制服を着た長髪で赤髪のツインテール白井さんと比べて出るところはキチンと出てて引っ込んでいるところは引っ込んでいるナイスボディの俺っ娘とその妹と思われる、白い制服を着た気が弱そうな態度が少しする少し明るい緑髪の短髪の女子がいた……

「あなた達がこの部活に入る、1年生？」

「はい、そうです」

今思ったことだけどここの部活申請、回るのやたらと速いな……

「じゃあ自己紹介するね。俺の名前は【新川 あらかわ 火煉 かれん】で隣にいるのが」

「妹の【新川 あらかわ 葉月 はつき】です。よろしく」

「よろしくお願いします。私の名前は白井優奈です」

「よろしくお願いします。俺の名前は黒野翼です」

何かいい人だな…白井さんと比べたら大違いですね

「あれ？後2人程1年生がいるはずでは……」

「僕の頼みでちょっと今はいないんだよ。少し待てば来るよ」

葉月さんは僕っ娘ですか……個性豊かなメンバーだな……

「まあ来るまでここでゆっくり待ってるといいよ」

そういつて葉月さんは俺達にお茶をだした……あっうまい……

第8話 部活決め（後書き）

ついに新たなオリキャラが来た！！これを記念に後書きに黒野と白井をだすぜ！

黒野「よう、作者」

白井「私達やっと後書きにこれましたね」

はい、後書き以上！感想や誤字報告、質問をくれると嬉しいです！

黒野「ちょっと待って作者！」

白井「いくら何でもはやs……」

作者はログアウトしました

第9話

全員集合！だが関係ない事をあまりこっち持っていくな！b y 翼（前

どうも雷光です。まさかのサブタイトル書き忘れた：orz

早速本題に入ります。シオン様がこの小説をお気に入り登録してくれました！！気分がどっかのグオレンダ！！並にぶっ飛んだので今日も更新…

どうでもよい話、今日私の誕生日です。

第9話 全員集合！だが関係ない事をあまりこっち持つてくんな！b y 翼

「ところで残りの部員はどこですか、火煉さん？」

はい、皆様どうも黒野です。現在俺はヴァイスシュヴァルツ部にいて赤髪ツインテールの女の人でこの学園の先輩の新川火煉と話します。ちなみに白井さんと葉月さんは購買部でパックを買いに行きました。以上

「残りの部員なんていないよ。後で来る1年生2人とさっき入った白井て言う子と妹の葉月だけ」

「結構少ないですね。ここヴァイスシュヴァルツ中心の学園でしょ？」

「その考えは少し間違ってるよ、黒野君」

間違ってるね………どういう意味だろそれ？

「この学園は確かにヴァイスシュヴァルツが中心だけど生徒の心までヴァイスシュヴァルツ中心じゃないから。生徒はほぼすべてヴァイスシュヴァルツの事を楽しんでるけど部活までやるほどじゃないのよ。だから部活はみんな普通に運動系にする人が多くなるからこの部活の部員は増えない、この部活では部員が8人でも多いほうなのよ」

「ぶーん……」

つまりこの学園はヴァイスシュヴァルツ中心だが生徒はヴァイスシュヴァルツを楽しんでいるけど大半は部活にやるほど好きではないということだな……

「まあ、1年生が4人来るおかげで今年の廃部はなさそうだからもうどうでもいいけど……」

そういつてテーブル上にいつの間にか置かれているポテトチップス【コンソメ味】を左手でとり食べた……どこかの粉バナナを喋る新世界の神が思い浮かんだぞ……

「どうも！帰ってきたよ！」

「帰ってきました、姉さん」

あっ葉月さんと白井さんが帰ってきた……なんか妙に大きい荷物を持っている白井さんが気になるな……しかも笑顔だし……

「ああ、おかえり……ん？その後ろにいるのは……」

ほんとだ。葉月さんの後ろに誰がいる……

「失礼します！！」「失礼しますわ」

後ろから白い制服を着たお嬢様臭がする腰までいく青髪ストレートの頭にカチューシャをしてる女と黒の制服を着た白井さんほどチンチクリンでちよつとカチカチしてるが肩に掛かるか掛からないぐらいの長さの黄髪の子が現れた……あれは男装してるのか？……もしくは男の娘か？

「私の名前は【海鳥うみどり 由紀ゆき】と言います」

青髪のほうは海鳥さんと……呼びにくいな

「ぼ、僕の名前は【神田かんだ 皐月さつき】と言います！」

黄髪のほうは神田さんと……皐月のほうが呼びやすそうだな

「じゃあみんな揃ったし改めて自己紹介するか。俺の名前は新川火煉。このヴァイスシュヴァルツ部の部長で3年です」

なるほど……火煉さんは3年つと……

「次は僕です。僕の名前は新川葉月です。ここの部長、新川火煉の妹でこの部の副部長で2年です」

葉月さんは2年……

「はいはい！次私！私の名前は白井優奈！あなた達と同じ1年！」

「でそのルームメイトの黒野翼です。よろしく」

「よ、よろしくお願いします！」

おいおい……そこまで硬くなるなよ神田さん……同じ1年だからもっと軽くいいって

「では次は僕です！僕の名前は神田皐月っていいいます！見た目が女の子ばいけどこれでもちゃんと男です！」

はい、どうやら男の娘だったようです。うん…リアルに見るといじりたくなるほど可愛いな…

「では最後に私ですね。私の名前は海鳥由紀ですわ。」

はい、お嬢様口調でしたね見事に。たくお嬢様なら金髪のドリルヘヤーにしたほうがうれしかったな…色んな意味で

「……まあこんなところかな？ところで葉月、由紀と皐月に何を頼んでいたの？」

早速名前で呼んだ火煉さん……結構フレンドリーっすね

「ふふ…それはねこれの参加申請紙を貰いに行かせたんだ」

ジャン！って効果音がつきそうな雰囲気でその用紙をテーブルの中心に置いた……

「えーと、何々……」

ぬーっと俺の目線と顔を用紙に向けた

「……東 秋 原開催のミニトーナメント…タッグヴァイスシュヴァルツ……」

「そう、やる時は予選で7月13日で本戦が8月21日だからまだ当分先の話だけだね」

「……タッグヴァイスシュヴァルツって何？」

ただせさえルール覚えんのに5時間程使って基本は覚えられんだぞ。
タッグになったらどうなんだよ……

「タッグヴァイスシユヴァルツというのは……」

ただいま説明中……しばらくお待ちください

30分後

「……という訳、わかった？」

「はい、なんとなく理解しました」

葉月さんから聞いた説明によるとルールは基本いつも通りで2対2
のバトルでフィールドが一つ。ターン進行は自分 相手1 パート
ナー 相手2 自分…という形。控え室やストック、思い出は共有
するがデッキ、手札の共有はなし…さらにパートナーの手札を確認
するのもしなし…デッキが0になった時パートナーのカードも含めて
リフレッシュする。このルールは結構危ないな…自分のデッキのク

ライマックスが返ってこなくてキャンセルできる確率が減る……しかもある特定の条件を満たせばレベルが4でなくてもそのタッグは敗北となる……ここら辺は葉月さんも知らないようだ。

「……………」

「どうしたの優奈、そんな深く考えて？」

あつ本当だ。白井さん結構深く考えてる……さっきの笑顔はどこへ？

「いや、何でもありません……ただ何か引っかけたような気がして……………」

「引っかけたって……どこが？」

俺はこのルールのリフレッシュはかなり危険だと気づいたんだが……白井さんはもっと深く危険なのに気づいたのか？

「デッキのリフレッシュと……特定の条件で敗北するルールが……………」

……何かすごいところに気づいたな……………」

「……………すみません、何か私達とても空気になっている気がしますわ」

「あつ、ごめん！すっかり忘れてた！」

俺も忘れてました……ごめんなさい海鳥さんと神田さん……

「これ以上話すのはよそうか。まだ3ヶ月後の話だし……………」

「そうですね。これぐらいにしておいたほうがいいね。じゃあみんな解散！」

タッグヴァイスシュヴァルツの話が終わり…解散と言われたので俺は部屋に帰ろうかな…と思った矢先

「ちょっと、みんなこれからちょっとゲームをしない？」

「……ゲーム？ヴァイスシュヴァルツじゃなくて？」「……」

再び白井さんに笑顔が戻ってきた……目の奥が黒いぞ、やたらと……

「何をやるの？」

興味津々ですね、火煉さん……

「あれをやるのね」

何をやるか知っている葉月さん……

「そう…あれですよ……」

段々と笑みが黒くなってゆく白井さん……何をやる気だ…ゴクリ

「テレビで大人気の逃 中…やらない？」

おい、お前！この小説とあまり関係ないことをするな！

第9話 全員集合！だが関係ない事をあまりこっち持ってくんない！b y 翼（後

アインハルト「断空拳！！」

グハツ！！！！（ボキッ！！！！）

アインハルト「……………」テクテクテク…

黒野「……………」どうした作者？しかも何あの人？オリキャラ？」

白井「違うよ黒野君。あの人は【魔法少女リリカルなのはvivid】の公式キャラ【アインハルト・ストラトス】ですよ」

黒野「じゃあ質問変えるけど何でその公式キャラ、アインハルトが来たの？」

白井「それはね…F20C様の二次小説【魔法少女リリカルなのはvivid】とある訓練生と霸王っ子の感想である発言をしてしまいました」

黒野「作者…………F20C様を怒らせたんだな……………」

ち…………違うと思う…………から…………理由がわかりたいならF20C様の二次小説の【とある訓練生と霸王っ子】の感想を見に行けば…………わ…………か…………る…………（バタツ）

黒野「気絶した…………まあ理由知りたければどうぞF20C様の二次小説【魔法少女リリカルなのはvivid】の感想を見に行ってください」

白井「大事な事なので3回言いました」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9792x/>

白黒学園物語

2011年11月20日19時32分発行